

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2023 年 4 月 26 日

都道府県知事 殿

病院名 倉敷成人病センター
開設者 岡山県倉敷市白楽町 250
一般財団法人倉敷成人病センター
代表理事 安藤 正明

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

① . 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 39 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

記入日：西暦 2023 年 4 月 26 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030796	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 番号 0307963
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ ヲカ ヨシロ 氏名 (姓) (名) 田中 祥裕		役職 病院事務部部长 (内線 9340) (直通電話 (086)422-2111) e-mail : ikyoku@fkmc.or.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ クラシセイジ ヨウセンター 倉敷成人病センター		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 710-8522 (岡山県) 倉敷市白楽町 250 電話 : (086)422-2111 F A X : (086)422-4150 二次医療圏 の名称 : 県南西部		
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ イッパソガ イタンホウジ クラシセイジ ヨウセンター 一般財団法人倉敷成人病センター		
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 710-8522 (岡山県) 倉敷市白楽町 250 電話 : (086)422-2111 F A X : (086)422-4150		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ ウメカ ヲシロ 姓 名 梅川 康弘		
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会のすべての構成員 (協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してく ださい。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http://www.fkmc.or.jp		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤：105名、非常勤（常勤換算）：10.7名 計（常勤換算）：115.7名、医療法による医師の標準員数：43.0名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦2023年2月5日、告示番号：第52号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 (2.) 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	(1.) 有 (49.300) m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数：3190件（うち診療時間外：2140件） 1日平均件数：8.8件（うち診療時間外：5.9件） 救急車取扱件数：986件（うち診療時間外：539件）
	診療時間外の勤務体制	医師：1名、看護師及び准看護師：2名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (1.) 有 0. 無) 外科系 (1.) 有 0. 無) 小児科 (1.) 有 0. 無) その他（夜間は当直医師による）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：269床、2. 精神：0床、3. 感染症：0床 4. 結核：0床、5. 療養：0床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：6.0日、2. 精神：0.0日、3. 感染症：0.0日 4. 結核：0.0日、5. 療養：0.0日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数：1157件、異常分娩件数：265件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績：0回、今年度見込：2回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績：2件、今年度見込：2件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 (1.) 有 0. 無 () 大学、() 病院 <small>無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。</small>
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） (0.) 無（住宅手当：32500円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>
	研修医室	(1.) 有（1室） 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	(129.600) m ²
	医学図書数	国内図書：3823冊、国外図書：237冊
	医学雑誌数	国内雑誌：92種類、国外雑誌：61種類
	図書室の利用可能時間	00:00～24:00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース ((1.) 有 0. 無)、教育用コンテンツ ((1.) 有 0. 無)、 その他（PubMed、医中誌Web、CiNii-Articles、ClinicalKey） 利用可能時間（00:00～24:00）24時間表記
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (1.) 有 0. 無)、 その他（気道管理トレーナー、蘇生法練習用人形、手背の静脈シミュレーター、縫合手技トレーニングセット、CVトレーニングセット）	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

<p>18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>病歴管理の責任者の氏名及び役職</p>	<p>フリガナ タカ トモキ 氏名(姓) 高田 (名) 知行 役職 診療情報管理課 課長</p>												
	<p>診療に関する諸記録の管理方法</p>	<p>① 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)</p>												
	<p>診療録の保存期間</p>	<p>(15) 年間保存</p>												
	<p>診療録の保存方法</p>	<p>1. 文書 ② 電子媒体 その他(具体的に:)</p>												
<p>19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>安全管理者の配置状況</p>	<p>① 有 (1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</p>												
	<p>安全管理部門の設置状況</p>	<p>職員：専任 (4) 名、兼任 (19) 名 主な活動内容：例「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 院内発生した医療事故等の情報収集や具体的方策の検討、医療事故防止目的の院内研修、施設環境に関する対応・ラウンド、</p>												
	<p>患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況</p>	<p>患者相談窓口の責任者の氏名等： フリガナ イドウ ユキ 氏名(姓) 岩藤 氏名(名) 幸男 役職 患者総合支援課 課長 対応時間(平日 8:30 ~ 17:30) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無：① 有 0. 無</p>												
	<p>医療に係る安全管理のための指針の整備状況</p>	<p>① 有 0. 無 指針の主な内容： 基本理念、医療事故防止のための基本事項、委員会設置、報告等に基づく医療に係る安全確保目的の改善方策、院内教育及び研修体制</p>												
	<p>医療に係る安全管理委員会の開催状況</p>	<p>年 (12) 回 活動の主な内容： アクシデント・インシデント等の収集・分析・改善・評価、院内ラウンド、マニュアル整備、医薬品・医療機器等の安全性情報発信、注意喚起、各改善策の現場へのフィードバック</p>												
	<p>医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況</p>	<p>年 (15) 回 研修の主な内容： 医療事故への提言(医療安全情報)、個人情報保護、医療機器・医薬品・診療放射線の安全管理、救急蘇生(BLS)、抗菌薬適正使用、標準予防策</p>												
	<p>医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策</p>	<p>医療機関内における事故報告等の整備：① 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容： インシデント報告システム、院内死亡事例報告票確認による院内事故の検証、院内システムへの周知内容発信、ニュースレター発行</p>												
<p>20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)</p>		<p>修了： 2 名 中断： 0 名</p>												
<p>21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)</p>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">前々年度</th> <th style="text-align: center;">前年度</th> <th style="text-align: center;">当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1 年</td> <td style="text-align: center;">2 名</td> <td style="text-align: center;">2 名</td> <td style="text-align: center;">2 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2 年</td> <td style="text-align: center;">3 名</td> <td style="text-align: center;">2 名</td> <td style="text-align: center;">2 名</td> </tr> </tbody> </table>		前々年度	前年度	当該年度	1 年	2 名	2 名	2 名	2 年	3 名	2 名	2 名
	前々年度	前年度	当該年度											
1 年	2 名	2 名	2 名											
2 年	3 名	2 名	2 名											
<p>22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出</p>	<p>許可病床数 (269) 床 ÷ 10 = (26) 名</p>												
	<p>患者数から算出</p>	<p>年間入院患者数 (12206) 人 ÷ 100 = (122) 名</p>												
<p>23. 当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙5も提出すること。</p>		<p>○ 派遣実績 → 募集定員加算 0 名 → 名 ※ 募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。(記入要領 25 を参照) ○ 地域医療対策協議会等の意向の把握 (有 ・ ① 無) ※ 該当する方を○で囲むこと。</p>												

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<p>28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。</p>	<p>研修プログラムの名称：倉敷成人病センター卒後研修プログラム ver. 4 プログラム番号：030796501</p>																		
<p>29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)</p>	<p>1年次：2名、2年次：2名</p>																		
<p>30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">フリガナ</td> <td style="width: 35%;">アイト</td> <td style="width: 35%;">テツ</td> </tr> <tr> <td>氏名(姓)</td> <td>相田</td> <td>氏名(名) 哲史</td> </tr> <tr> <td colspan="3">所属 診療部 リウマチ膠原病センター 役職 研修管理委員会 委員長</td> </tr> <tr> <td colspan="3">電話：086-422-2111 fax:086-422-4150</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e-mail：ikyokut@fkmc.or.jp</td> </tr> <tr> <td colspan="3">URL：http://www.fkmc.or.jp</td> </tr> </table>	フリガナ	アイト	テツ	氏名(姓)	相田	氏名(名) 哲史	所属 診療部 リウマチ膠原病センター 役職 研修管理委員会 委員長			電話：086-422-2111 fax:086-422-4150			e-mail： ikyokut@fkmc.or.jp			URL： http://www.fkmc.or.jp		
フリガナ	アイト	テツ																	
氏名(姓)	相田	氏名(名) 哲史																	
所属 診療部 リウマチ膠原病センター 役職 研修管理委員会 委員長																			
電話：086-422-2111 fax:086-422-4150																			
e-mail： ikyokut@fkmc.or.jp																			
URL： http://www.fkmc.or.jp																			
<p>資料請求先</p>	<p>住所 〒 710-8522 岡山県倉敷市白楽町 250</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">担当部門</td> <td style="width: 35%;">担当者氏名</td> <td style="width: 35%;">ミキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フリガナ ヌムラ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>姓 古村</td> <td>美幸</td> </tr> </table> <p>電話： 086-422-2111 F A X： 086-422-4150 e-mail：ikyoku@fkmc.or.jp URL：http://www.fkmc.or.jp</p>	担当部門	担当者氏名	ミキ		フリガナ ヌムラ			姓 古村	美幸									
担当部門	担当者氏名	ミキ																	
	フリガナ ヌムラ																		
	姓 古村	美幸																	
<p>募集方法</p>	<p>① 公募 2. その他(具体的に：)</p>																		
<p>応募必要書類 (複数選択可)</p>	<p>①履歴書、②卒業(見込み)証明書、③成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他(具体的に：小論文、アンケート)</p>																		
<p>選考方法 (複数選択可)</p>	<p>①面接 ②筆記試験 その他(具体的に：)</p>																		
<p>募集及び選考の時期</p>	<p>募集時期：07月01日頃から 選考時期：07月31日頃から</p>																		
<p>マッチング利用の有無</p>	<p>①有 0. 無</p>																		
<p>31. 研修プログラムの名称及び概要(基幹型記入)</p>	<p>概要：* 別紙3に記入(作成年月日：西暦2023年4月18日)</p>																		
<p>32. プログラム責任者の氏名等(副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入) * プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入</p>	<p>(プログラム責任者) フリガナ アイト</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">氏名(姓)</td> <td>相田</td> <td style="width: 35%;">氏名(名) 哲史</td> </tr> </table> <p>所属 診療部 リウマチ膠原病センター 役職 研修管理委員会 委員長</p> <p>(副プログラム責任者) 1. 有(0名) ① 無</p>	氏名(姓)	相田	氏名(名) 哲史															
氏名(姓)	相田	氏名(名) 哲史																	
<p>33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 (基幹型記入) 全ての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。</p>	<p>* 別紙4に記入</p>																		
<p>34. インターネットを用いた評価システム</p>	<p>①. 有り(・EPOC ・その他())</p>																		
<p>35. 研修開始時期(基幹型、地域密着型記入)</p>	<p>西暦2022年4月1日</p>																		
<p>36. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ②. 病院独自の処遇とする。</p>																		
<p>常勤・非常勤の別</p>	<p>①. 常勤 2. 非常勤</p>																		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

37. 研修医の処遇 (続き) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	研修手当	一年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 (355700 円) 賞与/年 (827300 円)	二年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 (396600 円) 賞与/年 (1295500 円)
		時間外手当： 1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無 休日手当： 1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
	勤務時間	基本的な勤務時間 (8:30 ~ 17:30) 24 時間表記 休憩時間：12 時 00 分~13 時 00 分	
	休暇	時間外勤務の有無：1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
	当直	有給休暇 (1 年次： 10 日、2 年次： 11 日) 夏季休暇 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) 年末年始 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 その他休暇 (具体的に：)	
	研修医の宿舍 (再掲)	1. 有 (単身用： 戸、世帯用： 戸) <input checked="" type="radio"/> 無 (住宅手当： 32500 円) <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>	
	研修医室 (再掲)	<input checked="" type="radio"/> 有 (1 室) <input type="radio"/> 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>	
	社会保険・労働保険	公的医療保険 (全国健康保険協会健康保険) 公的年金保険 (厚生年金保険) 労働者災害補償保険法の適用 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無、 国家・地方公務員災害補償法の適用 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) 雇用保険 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
	健康管理	健康診断 (年 2 回) その他 (具体的に)	
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 <input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない 個人加入 (1. 強制 <input checked="" type="radio"/> 任意)	
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加： <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
	院内保育所 (再掲)	院内保育所の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) <small>有を選択した場合、開所時間を記入してください (7 時 00 分 ~ 19 時 00 分)</small> 病児保育 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) 夜間保育 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無)	
	保育補助 (再掲)	上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) その他の補助 (具体的に：)	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所 (再掲)	休憩場所 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) 授乳スペース (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)	
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入) (再掲)	()	
	研修医のライフイベントの相談窓口 (再掲)	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 窓口の名称がある場合記入 (人事課) 窓口の専任担当 1. 有 (名) <input checked="" type="radio"/> 無	
	各種ハラスメントの相談窓口 (再掲)	窓口の名称を記入 (コンプライアンス室) 窓口の専任担当 1. 有 (名) <input checked="" type="radio"/> 無	
	38. 研修医手帳 (基幹型記入)	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
	39. 連携状況 (基幹型記入)	* 様式 6 に記入	

※欄は、記入しないこと。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 8 －

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

37. 研修医の処遇 (続き) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	研修手当	一年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 (355700 円) 賞与/年 (827300 円)	二年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 (396600 円) 賞与/年 (1295500 円)
		時間外手当： 1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無 休日手当： 1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
	勤務時間	基本的な勤務時間 (8:30 ~ 17:30) 24 時間表記 休憩時間：12 時 00 分~13 時 00 分	
	休暇	時間外勤務の有無：1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
	当直	有給休暇 (1 年次： 10 日、2 年次： 11 日) 夏季休暇 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) 年末年始 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 その他休暇 (具体的に：)	
	研修医の宿舍 (再掲)	1. 有 (単身用： 戸、世帯用： 戸) <input checked="" type="radio"/> 無 (住宅手当： 32500 円) <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>	
	研修医室 (再掲)	<input checked="" type="radio"/> 有 (1 室) <input type="radio"/> 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>	
	社会保険・労働保険	公的医療保険 (全国健康保険協会健康保険) 公的年金保険 (厚生年金保険) 労働者災害補償保険法の適用 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無、 国家・地方公務員災害補償法の適用 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) 雇用保険 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
	健康管理	健康診断 (年 2 回) その他 (具体的に)	
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 <input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない 個人加入 (1. 強制 <input checked="" type="radio"/> 任意)	
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加： <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
	院内保育所 (再掲)	院内保育所の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) <small>有を選択した場合、開所時間を記入してください (7 時 00 分 ~ 19 時 00 分)</small> 病児保育 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) 夜間保育 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無)	
	保育補助 (再掲)	上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) その他の補助 (具体的に：)	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所 (再掲)	休憩場所 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) 授乳スペース (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)	
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入) (再掲)	()	
	研修医のライフイベントの相談窓口 (再掲)	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 窓口の名称がある場合記入 (人事課) 窓口の専任担当 1. 有 (名) <input checked="" type="radio"/> 無	
	各種ハラスメントの相談窓口 (再掲)	窓口の名称を記入 (コンプライアンス室) 窓口の専任担当 1. 有 (名) <input checked="" type="radio"/> 無	
	38. 研修医手帳 (基幹型記入)	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
	39. 連携状況 (基幹型記入)	* 様式 6 に記入	

※欄は、記入しないこと。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）： 倉敷成人病センター （岡山県）

基幹型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
岡山県	県南西部	倉敷成人病センター (病院施設番号：030796)		岡山県	県南西部		川崎医科大学附属病院 (病院施設番号：030622)		岡山県	県南西部		医療法人和陽会むらかみクリニック (病院施設番号：096438)		倉敷成人病センター卒業研修プログラム ver. 4	2
				岡山県	県南西部		倉敷中央病院 (病院施設番号：030620)		岡山県	県南西部		つばさクリニック (病院施設番号：096364)		倉敷成人病センター卒業研修プログラム ver. 5	2
				岡山県	県南西部		水島中央病院 (病院施設番号：031030)		岡山県	県南西部		八王寺内科クリニック (病院施設番号：126649)			
				岡山県	県南西部		まび記念病院 (病院施設番号：060033)		岡山県	県南西部		倉敷成人病健診センター (病院施設番号：033876)			
				岡山県	県南東部		万成病院 (病院施設番号：031895)		岡山県	県南西部		コミュニティアセナーライフタウンまび (病院施設番号：033870)			
							(病院施設番号：)		岡山県	高梁・新見		社会医療法人哲西会哲西町診療所 (病院施設番号：034515)			
							(病院施設番号：)		岡山県	県南西部		倉敷市保健所 (病院施設番号：033091)			
							(病院施設番号：)					(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)					(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)					(病院施設番号：)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

万成病院：精神科医療を学ぶために必要であり、従前より研修協力を行い、診療においても連携の実績があるため。
 哲西町診療所：へき地医療を学ぶために必要であり、地域医療・へき地医療についての臨床教育のノウハウを有する施設であるため。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数3回）

病院施設番号：030796 臨床研修病院の名称：倉敷成人病センター

氏名	所属	役職	備考
アイタ テツシ 相田 哲史	倉敷成人病センター	リウマチ膠原病センター 部長	プログラム責任者 研修管理委員会委員長、指導医
ニシナ タクヤ 仁科 拓也	倉敷成人病センター	特任副院長 外科部長	研修管理委員会 副委員長 指導医
ナカハマ タカシ 中濱 崇	倉敷商工会議所	理事・事務局長	外部委員
ミヨシ トモコ 三好 智子	岡山大学病院	卒後臨床研修センター医科研修部門 副部門長	外部委員
コバヤシ ケンタロウ 小林 建太郎	万成病院	院長	指導医
シミズ ヨシオ 清水 義雄	万成病院	副院長	研修実施責任者 指導医
カワタ ハルオ 河田 晴雄	万成病院	事務部長	
マツオ リュウイチ 松尾 龍一	水島中央病院	院長	研修実施責任者 指導医
ムラマツ トモヨシ 村松 友義	まび記念病院	院長	研修実施責任者
シイノ ヤスカズ 椎野 泰和	川崎医科大学附属病院	救急医学教授 救急科部長	研修実施責任者 指導医

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数3回）

病院施設番号：030796 臨床研修病院の名称：倉敷成人病センター

氏名		所属	役職	備考
フクオカ トシオ		倉敷中央病院	副院長 総合診療科主任部長 救命救急センター長	研修実施責任者 指導医
福岡	敏雄			
ツボイ ケイイチ		八王寺内科クリニック	院長	研修実施責任者 指導医
壺井	圭一			
ナカムラ ユキノブ		つばさクリニック	理事長	研修実施責任者
中村	幸伸			
ムラカミ カズハル		むらかみクリニック	院長	研修実施責任者
村上	和春			
ドイ コウジ		哲西町診療所	所長	研修実施責任者 指導医
土井	浩二			
ヨシオカ アキヒコ		倉敷市保健所	所長	研修実施責任者 指導医
吉岡	明彦			
シン トモコ		倉敷成人病健診センター	センター長	研修実施責任者 指導医
進	智子			
ゲンコウ ジュンジ		コミュニティケアセンター ライフタウンまび	センター長	研修実施責任者
源幸	淳司			
ヨシナガ ヤスヒコ		倉敷成人病センター	副院長 卒後研修センター長	指導医
吉永	泰彦			
スエカネ ユイコ		日本リウマチ友の会岡山支部	副支部長	外部委員（患者代表）
末包	唯子			
タカモト ヒトシ		倉敷成人病センター	学術顧問	指導医
高本	均			

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数3回）

病院施設番号：030796 臨床研修病院の名称：倉敷成人病センター

氏名	所属	役職	備考
アンドウ マサアキ 安藤 正明	倉敷成人病センター	理事長	
ウメカワ ヤスヒロ 梅川 康弘	倉敷成人病センター	院長	指導医
ミマキ ノブヨシ 御牧 信義	倉敷成人病センター	小児科部長	指導医
オカダ ショウヘイ 岡田 昌平	倉敷成人病センター	特任副院長、麻酔科部長	指導医
ニシヤマ ススム 西山 進	倉敷成人病センター	救急部門	指導医
フジモト ヨシミ 藤本 善三	倉敷成人病センター	外科部長	指導医
サカテ シンタロウ 坂手 慎太郎	倉敷成人病センター	産婦人科副部長	指導医
オオサワ ミドリ 大澤 美登里	倉敷成人病センター	看護部長	
タナカ ヨシヒロ 田中 祥裕	倉敷成人病センター	病院事務部長	
フルカワ チホコ 古川 千穂子	倉敷成人病センター	看護部師長	指導者
ハマダ フミカ 浜田 文香	倉敷成人病センター	診療支援部 臨床検査科	指導者

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数3回）

病院施設番号：030796 臨床研修病院の名称：倉敷成人病センター

氏名		所属	役職	備考
ヤマシタ ユミコ		倉敷成人病センター	診療支援部 臨床工学科 技士長	指導者
山下	由美子			
ヤナギダ ダイスケ		倉敷成人病センター	医療安全管理室	指導者
柳田	大輔			
アサノ ヨウコ		倉敷成人病センター	病院事務部 総務課 副主任	指導者
浅野	陽子			
ホリノ ヒロシ		倉敷成人病センター	卒後研修センター	研修医
堀野	洋			
イレイ カズヒロ		倉敷成人病センター	卒後研修センター	研修医
伊禮	万紘			
カトウ ユウカ		倉敷成人病センター	卒後研修センター	研修医
加藤	夕佳			
タケダ リキ		倉敷成人病センター	卒後研修センター	研修医
竹田	カ			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター																		
病院施設番号： 030796																		
区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小 児 科	産婦人科	又は		泌尿器科	眼 科	放射線科	皮膚科	整形外科	プレストセンター <small>(乳癌科・乳腺外科)</small>	放射線治療科	呼吸器外科	病理診断科	合 計
							産 科	婦 人 科										
年間入院患者実数 ()内は救急件数又は分娩件数	1318	(3190)	583	0	711	()	1607 (1422)	2250	1154	3805	22	41	476	220	13	6		12206
年間新外来患者数	8948		335	9	4388		935	7077	2182	4507	1026	841	2131	1706	47	63		34195
1日平均外来患者数 ()内は年間外来診療日数	281.0 (244)	(365)	27.5 (244)	4.1 (244)	147.9 (244)	()	134.1 (244)	170.5 (244)	87.3 (244)	155.2 (244)	5.4 (244)	27.9 (244)	68.3 (244)	42.7 (244)	25.6 (244)	3.0 (244)		
平均在院日数	11.7		8.7	0	4.6		6.4	5.8	5.4	3.2	14.1	8.8	18.8	7.7	24.6	8.8		
常勤医師数 (うち臨床研修指導医 (指導医)数)	18 (8)	1 (1)	9 (6)	6 (3)	11 (7)	()	1 (1)	14 (1)	9 (5)	11 (3)	6 (2)	1 (0)	5 (3)	2 (1)	2 (1)	2 (2)	2 (2)	105 (46)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

3 1. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030796501

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

臨床研修病院群番号： 0307963

臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	倉敷成人病センター卒後研修プログラム ver. 4			
2. 研修プログラムの特色	<p>研修医の希望や折々の課題に柔軟に対応しながら、研修をコーディネートしていくことができる。カンファレンスでの議論、一般外来・救急医療・入院診療等における実際の診療にあたること、専門的かつ先進的な手術、不妊治療・小児医療を含めた一体的な周産期・成育医療などの当院の強みである分野にも参画する機会を多くもつことができる。なによりの長所は、「ひとりひとりにやさしく 最良の医療を」をモットーに、多職種からなる手厚い指導陣、多くの協力機関、地域住民と支えあいながら研修生活を送ることができる点であり、多様な視点を学び、感性豊かで洗練された医師を輩出するプログラムである。また当院では、研修医は各科の専門医から直接指導が受けられる体制が備わっており、3年目以降の専門分野選択において幅広い学びを提供する機会がある。</p>			
3. 臨床研修の目標の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床医として必要なプライマリ・ケアの基本的な診療知識・技術および安全管理の方法を修得する。 2. 医療の専門職としての倫理と責任を自覚し、患者の身体的・精神的苦痛を共感できる感性を養う。 3. 医療チームの構成員として、患者・家族・医療スタッフとのコミュニケーションを大切に、協調と協力の習慣を身につける。 4. 生涯にわたって学び続け、医学・医療の発展に寄与できる質の高い診療能力を求め続ける態度を修得する。 5. 医学・医療における社会的役割を認識し、地域のニーズに応えられる医師として成長する。 6. 症状や主訴のみならず、患者の社会的背景・ライフスタイル・価値観等をも総合的に捉え、「疾患ではなく人を診る」力を身につける。 			
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。			
5. 臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間)</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p>			
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分	内科	030796 倉敷成人病センター	24週	2週
	救急部門	030796 倉敷成人病センター	12週	
		030622 川崎医科大学附属病院 030620 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 031030 水島中央病院		

野	地域医療	060033	まび記念病院	4週	一般外来 1週 在宅診療 1週
		096438	医療法人和陽会むらかみクリニック		
		096364	つばさクリニック		
		126649	八王寺内科クリニック		
		034515	社会医療法人哲西会哲西町診療所		
	外科	030796	倉敷成人病センター	4週	1週
小児科	030796	倉敷成人病センター	4週	1週	
産婦人科	030796	倉敷成人病センター	4週		
精神科	031895	万成病院	4週		
一般外来			週		
病院で 定めた 必修 科目	麻酔科	030796	倉敷成人病センター	4週	
	プライマリ・ケア(外来)	030796	倉敷成人病センター	100週	
	病理診断科	030796	倉敷成人病センター	104週	
	地域と健康	030796 033876 033870 033091	倉敷成人病センター 倉敷成人病健診センター コミュニティーケアセンター ライフタウンまび 倉敷市保健所	104週	
	オリエンテーション	030796	倉敷成人病センター	4週	
選択 科目	内科(選択科目)	030796	倉敷成人病センター	32週	
	救急部門 (選択科目)	030796	倉敷成人病センター		
		030622	川崎医科大学附属病院		
		030620 031030	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 水島中央病院		
地域医療 (選択科目)	060033 096438 096364 126649 034515	まび記念病院 医療法人和陽会むらかみクリニック つばさクリニック 八王寺内科クリニック 社会医療法人哲西会哲西町診療所			
小児科(選択科目)	030796	倉敷成人病センター			
外科(選択科目)	030796	倉敷成人病センター			
精神科(選択科目)	031895	万成病院			
麻酔科(選択科目)	030796	倉敷成人病センター			
産婦人科(選択科目)	030796	倉敷成人病センター			
プライマリ・ケア (外来)(選択科目)	030796	倉敷成人病センター			
病理診断科 (選択科目)	030796	倉敷成人病センター			
地域と健康 (選択科目)	030796 033876 033870 033091	倉敷成人病センター 倉敷成人病健診センター コミュニティーケアセンターライフタウンまび 倉敷市保健所			

	泌尿器科（選択科目）	030796	倉敷成人病センター	
	眼科（選択科目）	030796	倉敷成人病センター	
	皮膚科（選択科目）	030796	倉敷成人病センター	
	放射線科（選択科目）	030796	倉敷成人病センター	
	整形外科（選択科目）	030796	倉敷成人病センター	

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。
 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
 研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門
 の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 54 回
 救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする
 一般外来の研修を行う診療科・・・内科・外科・小児科・地域医療

3 1. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：030796502

病院施設番号：030796

臨床研修病院の名称：倉敷成人病センター

臨床研修病院群番号：0307963

臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	倉敷成人病センター卒後研修プログラム ver. 5			
2. 研修プログラムの特色	<p>研修医の希望や折々の課題に柔軟に対応しながら、研修をコーディネートしていくことができる。カンファレンスでの議論、一般外来・救急医療・入院診療等における実際の診療にあたること、専門的かつ先進的な手術、不妊治療・小児医療を含めた一体的な周産期・産科医療などの当院の強みである分野にも参画する機会を多くもつことができる。なによりの長所は、「ひとりひとりにやさしく 最良の医療を」をモットーに、多職種からなる手厚い指導陣、多くの協力機関、地域住民と支えあいながら研修生活を送ることができる点であり、多様な視点を学び、感性豊かで洗練された医師を輩出するプログラムである。また当院では、研修医は各科の専門医から直接指導が受けられる体制が備わっており、3年目以降の専門分野選択において幅広い学びを提供する機会がある。</p>			
3. 臨床研修の目標の概要	<ol style="list-style-type: none"> 臨床医として必要なプライマリ・ケアの基本的な診療知識・技術および安全管理の方法を修得する。 医療の専門職としての倫理と責任を自覚し、患者の身体的・精神的苦痛を共感できる感性を養う。 医療チームの構成員として、患者・家族・医療スタッフとのコミュニケーションを大切にし、協調と協力の習慣を身につける。 生涯にわたって学び続け、医学・医療の発展に寄与できる質の高い診療能力を求め続ける態度を修得する。 医学・医療における社会的役割を認識し、地域のニーズに応えられる医師として成長する。 症状や主訴のみならず、患者の社会的背景・ライフスタイル・価値観等をも総合的に捉え、「疾患ではなく人を診る」力を身につける。 			
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。			
5. 臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間)</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p>			
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分	内科	030796 倉敷成人病センター	24週	2週
	救急部門	030796 倉敷成人病センター	12週	
		030622 川崎医科大学附属病院 030620 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 031030 水島中央病院		

野	地域医療	060033	まび記念病院	4週	一般外来 1週 在宅診療 1週
		096438	医療法人和陽会むらかみクリニック		
		096364	つばさクリニック		
		126649	八王寺内科クリニック		
		034515	社会医療法人哲西会哲西町診療所		
	外科	030796	倉敷成人病センター	4週	1週
小児科	030796	倉敷成人病センター	4週	1週	
産婦人科	030796	倉敷成人病センター	4週		
精神科	031895	万成病院	4週		
一般外来			週		
病院で 定めた 必修 科目	麻酔科	030796	倉敷成人病センター	4週	
	プライマリ・ケア(外来)	030796	倉敷成人病センター	100週	
	病理診断科	030796	倉敷成人病センター	104週	
	地域と健康	030796 033876 033870 033091	倉敷成人病センター 倉敷成人病健診センター コミュニティーケアセンター ライフタウンまび 倉敷市保健所	104週	
	オリエンテーション	030796	倉敷成人病センター	4週	
選択 科目	内科(選択科目)	030796	倉敷成人病センター	32週	
	救急部門 (選択科目)	030796	倉敷成人病センター		
		030622	川崎医科大学附属病院		
		030620 031030	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 水島中央病院		
地域医療 (選択科目)	060033 096438 096364 126649 034515	まび記念病院 医療法人和陽会むらかみクリニック つばさクリニック 八王寺内科クリニック 社会医療法人哲西会哲西町診療所			
小児科(選択科目)	030796	倉敷成人病センター			
外科(選択科目)	030796	倉敷成人病センター			
精神科(選択科目)	031895	万成病院			
麻酔科(選択科目)	030796	倉敷成人病センター			
産婦人科(選択科目)	030796	倉敷成人病センター			
プライマリ・ケア (外来)(選択科目)	030796	倉敷成人病センター			
病理診断科 (選択科目)	030796	倉敷成人病センター			
地域と健康 (選択科目)	030796 033876 033870 033091	倉敷成人病センター 倉敷成人病健診センター コミュニティーケアセンターライフタウンまび 倉敷市保健所			

	泌尿器科（選択科目）	030796	倉敷成人病センター		
	眼科（選択科目）	030796	倉敷成人病センター		
	皮膚科（選択科目）	030796	倉敷成人病センター		
	放射線科（選択科目）	030796	倉敷成人病センター		
	整形外科（選択科目）	030796	倉敷成人病センター		
	放射線治療科（選択科目）	030796	倉敷成人病センター		
	乳腺科（選択科目）	030796	倉敷成人病センター		
	乳腺外科（選択科目）	030796	倉敷成人病センター		

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週 ※原則として、52 週以上 行うことが望ましい。
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内 であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 54 回
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする
一般外来の研修を行う診療科・・・内科・外科・小児科・地域医療

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

別紙4(No.1)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
内科	梅川 康弘	倉敷成人病センター	病院長	39年	○	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本消化器学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本化学療法学会抗腫瘍化学療法認定医 岡山大学医学部附属病院卒後臨床教育ワークショップ修了/岡山大学卒後臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
内科	大元 謙治	倉敷成人病センター	主任部長	42年	○	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本消化器学会専門医・指導医 日本肝臓学会専門医・指導医 日本超音波医学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 第4回岡山大学卒後臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
内科	奥山 俊彦	倉敷成人病センター	部長	34年	○	日本内科学会認定内科医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本消化器学会専門医・指導医 日本消化器がん検診学会総合認定医 平成18年度岡山県医師会臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
内科	柴田 憲邦	倉敷成人病センター	部長	30年	○	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本消化器学会専門医 日本肝臓学会専門医 第4回岡山大学卒後臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
内科	田中 康司	倉敷成人病センター	部長	26年	×	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本内分秘学会内分秘代謝科(内科)専門医	030796501 030796502	
内科	鈴木 朋子	倉敷成人病センター	部長	24年	×	日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本呼吸器学会専門医・指導医 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医	030796501 030796502	
内科	新井 修	倉敷成人病センター	部長 内視鏡センター センター長	22年	×	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本消化器学会専門医・指導医 日本肝臓学会専門医・指導医 日本ヘリコバクター学会H. pylori(ピロリ菌)感染症認定医 日本消化管学会胃腸科専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本カプセル内視鏡学会認定医・指導医	030796501 030796502	
内科	黒住 旭	倉敷成人病センター	医長	16年	○	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本糖尿病学会専門医・指導医 日本内分秘学会内分秘代謝科(内科)専門医・指導医 日本甲状腺学会専門医	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
内科	時岡 峻三	倉敷成人病センター	医長	11年	○	日本内科学会認定内科医	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
内科	長尾 聡子	倉敷成人病センター	医員	8年	×	日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医	030796501 030796502	
内科	白築 陽平	倉敷成人病センター	医員	8年	×	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会専門医	030796501 030796502	

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
内科 プライマリケア(外来)	吉永 泰彦	倉敷成人病センター	リウマチ膠原病センター センター長 患者総合支援センター センター長 卒後研修センター センター長	40	○	日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本リウマチ学会専門医・指導医 日本透析医学会認定医・専門医 日本腎臓学会専門医・認定指導医 日本リウマチ財団登録医 日本医学教育学会主催・文部化学省厚生労働省共催第35回医学教育者のためのワークショップ 平成18年度岡山県医師会臨床研修指導医養成講習会修了 平成27年度プログラム責任者養成講習会	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
内科	相田 哲史	倉敷成人病センター	リウマチ科 部長	30	○	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本リウマチ学会専門医・指導医 第5回岡山大学卒後臨床研修指導医養成講習会修了 令和元年度プログラム責任者養成講習会修了	030796501 030796502	1.プログラム責任者
救急部門	西山 進	倉敷成人病センター	リウマチ科 主任部長	33	○	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本リウマチ学会専門医・指導医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本リウマチ財団登録医 VHJ機構指導医養成講座修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
内科	大橋 敬司	倉敷成人病センター	リウマチ科 医長	14	×	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本リウマチ学会専門医・指導医 日本腎臓学会専門医 日本老年医学会老年科専門医 産業医学ディプロマ	030796501 030796502	

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
外科 乳腺外科	仁科 拓也	倉敷成人病センター	特任副院長 部長	37 年	○	日本外科学会認定医・専門医 日本乳癌学会認定医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター マンモグラフィ検診精度管理中央委員会読影認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本医師会「指導医のための教育ワークショップ(岡山医師会主催)」修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
外科	村上 敬祥	倉敷成人病センター	主任部長	30 年	○	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会専門医 日本医師会認定産業医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 第13回香川大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
外科	松本 剛昌	倉敷成人病センター	部長	45 年	○	日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会認定医・指導医 日本医師会認定産業医・健康スポーツ医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本医師会「指導医のための教育ワークショップ(岡山医師会主催)」修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
外科	藤山 泰二	倉敷成人病センター	部長 患者総合支援センター 副センター長	34 年	○	日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医 日本肝胆膵外科学会専門医・高度技能指導医 日本移植学会移植認定医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本肝臓学会専門医 日本胆道学会指導医 日本膵臓学会認定指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 平成16年度愛媛大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
外科	瀬下 賢	倉敷成人病センター	部長	32 年	○	日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本内視鏡外科学会技術認定取得医(消化器一般外科大腸) 消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 麻酔科標榜医 卒後臨床研修指導医講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
外科	藤本 善三	倉敷成人病センター	部長	26 年	○	日本外科学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 第12回岡山大学病院卒後臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
外科	竹原 清人	倉敷成人病センター	医長	18 年	×	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医 検診マンモグラフィ読影認定医	030796501 030796502	

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
呼吸器外科	奥村 典仁	倉敷成人病センター	主任部長 学術顧問	40 年	○	日本呼吸器外科学会専門医・指導医 日本呼吸器学会専門医・指導医 日本外科学会認定医・専門医 日本胸部外科学会認定医・指導医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 ロボット支援手術ライセンス(呼吸器外科執刀) 日本呼吸器外科学会ロボット支援手術プロクター ロボット外科学会専門医(国内B級) 日本呼吸器外科学会胸腔鏡安全技術認定医 卒後臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
呼吸器外科	林 達朗	倉敷成人病センター	部長	22 年	○	日本外科学会専門医 日本呼吸器外科専門医 平成30年度中国四国グループ臨床研修指導医養成研修会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称：倉敷成人病センター

2023/4/1

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
産婦人科 (産科・婦人科)	安藤 正明	倉敷成人病センター	理事長 主任部長 ロボット先端手術センター センター長	43 年	×	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 日本婦人科腫瘍学会専門医・指導医 日本内視鏡外科学会技術認定医(産科婦人科) 日本ロボット外科学会国際A級ライセンス 日本婦人科ロボット手術学会認定プロクター	030796501 030796502	
産婦人科 (産科・婦人科)	本山 洋明	倉敷成人病センター	体外受精センター センター長	47 年	×	日本産科婦人科学会専門医	030796501 030796502	
産婦人科 (産科・婦人科)	山崎 史行	倉敷成人病センター	周産期センター センター長 部長	46 年	×	日本産科婦人科学会専門医	030796501 030796502	
産婦人科 (産科・婦人科)	柳井 しおり	倉敷成人病センター	主任副部長	16 年	×	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医(産科婦人科) 日本ロボット外科学会国内A級ライセンス 日本婦人科ロボット手術学会認定プロクター	030796501 030796502	
産婦人科 (産科・婦人科)	坂手 慎太郎	倉敷成人病センター	副部長 周産期センター 副センター長	19 年	○	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本周産期・新生児医学会周産期専門医 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 日本ロボット外科学会国内B級ライセンス 第8回広島卒後臨床研修ネットワーク指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
産婦人科 (産科・婦人科)	菅野 潔	倉敷成人病センター	副部長	15 年	×	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医(産科婦人科) 日本ロボット外科学会国内A級ライセンス	030796501 030796502	
産婦人科 (産科・婦人科)	堀 晋一郎	倉敷成人病センター	医長	17 年	○	日本産科婦人科学会専門医 2019年度第3回臨床研修指導医講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
産婦人科 (産科・婦人科)	澤田 麻里	倉敷成人病センター	医長	17 年	×	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医(産科婦人科) 日本ロボット外科学会国内B級ライセンス	030796501 030796502	
産婦人科 (産科・婦人科)	真嶋 允人	倉敷成人病センター	医長	13 年	×	日本産科婦人科学会専門医	030796501 030796502	
産婦人科 (産科・婦人科)	越智 良文	倉敷成人病センター	医長	10 年	×	日本産科婦人科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本ロボット外科学会国内B級ライセンス	030796501 030796502	
産婦人科 (産科・婦人科)	仙波 恵樹	倉敷成人病センター	医員	9 年	×	日本産科婦人科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本ロボット外科学会国内B級ライセンス 厚生労働省後援リンパ浮腫研修修了 周産期医療支援機構ALSOプロバイダー	030796501 030796502	

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
泌尿器科	山本 康雄	倉敷成人病センター	主任部長 ロボット先端手術センター 副センター長	35 年	○	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 第6回国際医療福祉大学・高邦会グループ臨床研修指導医養成ワークショップ修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
泌尿器科	高本 均	倉敷成人病センター	学術顧問	50 年	○	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本性機能学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 一般社団法人日本認知症予防学会認知症予防専門医 社団法人日本病院会主催臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
泌尿器科	石戸 則孝	倉敷成人病センター	部長 尿路結石センター センター長	45 年	○	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本東洋医学会漢方専門医 平成20年度岡山県医師会臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
泌尿器科	日下 信行	倉敷成人病センター	部長	27 年	×	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医(泌尿器科)	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
泌尿器科	有地 直子	倉敷成人病センター	医長 透析センター センター長	21 年	○	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本透析医学会専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 卒後臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
泌尿器科	黒田 まゆら	倉敷成人病センター	医長	18 年	○	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 卒後臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
泌尿器科	佐久間 貴文	倉敷成人病センター	医員	9 年	×	麻酔科標榜医	030796501 030796502	

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
小児科	赤池 洋人	倉敷成人病センター	主任部長	20 年	○	日本小児科学会専門医・指導医 日本小児神経学会専門医 日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医 日本小児科医会こどもの心相談医 日本小児科学会出生前コンサルト小児科医 臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
小児科	御牧 信義	倉敷成人病センター	学術顧問 臨床研究センター センター長	40 年	○	日本小児科学会専門医・指導医 日本小児神経学会専門医 日本臨床神経生理学会専門医・指導医(脳波分野) 日本周産期・新生児学会認定新生児蘇生法「専門コース」インストラクター 日本ACLS協会認定 AHA PALSプロバイダー 日本小児科医会子どもの心相談医 日本小児科医会 地域総合小児医療認定医 第3回小児科医のための臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
小児科	木村 桂子	倉敷成人病センター	部長	42 年	○	日本小児科学会専門医 日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」 (岡山県医師会主催)修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
小児科	松原 和則	倉敷成人病センター	部長	40 年	○	日本小児科学会専門医 臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
小児科	中島 英和	倉敷成人病センター	部長	39 年	○	日本小児科学会専門医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 2019年度第1臨床研修指導医講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
小児科	天野 るみ	倉敷成人病センター	部長	37 年	○	日本小児科学会専門医 日本小児神経学会専門医 日本てんかん学会専門医 2019年度第2回臨床研修指導医講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
小児科	梅本 勇基	倉敷成人病センター	医長 周産期センター 副センター長	13 年	○	日本小児科学会専門医 日本周産期・新生児学会認定 新生児蘇生法「専門コース」修了 臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
小児科	鴨井 良明	倉敷成人病センター	医長	13 年	×	日本小児科学会専門医	030796501 030796502	

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
放射線科	浅川 徹	倉敷成人病センター	副院長 主任部長	34 年	○	日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本インターベンショナルラジオロジー学会IVR 専門医 第29回久留米大学病院指導医講習会	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
放射線科	福原 隆一郎	倉敷成人病センター	医長	18 年	○	日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本核医学学会核医学専門医 臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
放射線科	矢部 直未	倉敷成人病センター	医長	10 年	×	日本医学放射線学会放射線専門医 日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医	030796501 030796502	
放射線科	渡邊 菜津子	倉敷成人病センター	医員	8 年	×	日本医学放射線学会放射線専門医	030796501 030796502	

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
眼科	岡野内 俊雄	倉敷成人病センター	副院長 アイセンター センター長	32 年	○	日本眼科学会専門医・指導医 眼科PDT認定医 日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」 (岡山県医師会主催)修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
眼科	細川 満人	倉敷成人病センター	主任部長	31 年	○	日本眼科学会専門医 眼科PDT認定医 ボトックス資格認定医 臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
眼科	小野 恭子	倉敷成人病センター	部長	25 年	×	日本眼科学会専門医 眼科PDT認定医 ボトックス資格認定医	030796501 030796502	
眼科	戸島 慎二	倉敷成人病センター	医長	13 年	×	日本眼科学会専門医 眼科PDT認定医	030796501 030796502	
眼科	永岡 卓	倉敷成人病センター	医長	13 年	○	日本眼科学会専門医 眼科PDT認定医 第36回東邦大学医学部指導医講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
眼科	野田 雄己	倉敷成人病センター	医長	11 年	×	日本眼科学会専門医 眼科PDT認定医	030796501 030796502	
眼科	越智 正登	倉敷成人病センター	医長	11 年	×	日本眼科学会専門医	030796501 030796502	
眼科	杉原 佳恵	倉敷成人病センター	医長	10 年	×	日本眼科学会専門医	030796501 030796502	

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
麻酔科	岡田 昌平	倉敷成人病センター	特任副院長 部長	38 年	○	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会専門医・指導医 第2回高知県臨床研修指導医養成ワークショップ	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
麻酔科	楠戸 和仁	倉敷成人病センター	主任部長 手術センター センター長	32 年	○	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会指導医 日本専門医機構認定麻酔科専門医 香川大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医 養成講習会	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
麻酔科	藤井 美江	倉敷成人病センター	部長	31 年	×	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会専門医	030796501 030796502	
麻酔科	郷原 徹	倉敷成人病センター	部長	26 年	○	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会専門医・指導医 日本集中治療医学会専門医 日本ペインクリニック学会専門医 山口大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医 養成講習会	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
麻酔科	岡田 朋子	倉敷成人病センター	医長	26 年	×	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会専門医	030796501 030796502	
麻酔科	木田 好美	倉敷成人病センター	医長	13 年	×	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会専門医	030796501 030796502	
麻酔科	北川 有加	倉敷成人病センター	医長	11 年	×	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会認定医	030796501 030796502	

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
整形外科	三好 信也	倉敷成人病センター	主任部長	37 年	○	日本整形外科学会専門医 日本人工関節学会認定医 日本リウマチ学会リウマチ専門医 日本体育協会公認スポーツドクター 指導医のための教育ワークショップ	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
整形外科	吉原 由樹	倉敷成人病センター	部長 透析センター 副センター長	36 年	×	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定リウマチ医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション医 日本手外科学会認定手外科専門医 日本リウマチ学会専門医・指導医	030796501 030796502	
整形外科	戸田 巖雄	倉敷成人病センター	部長	30 年	○	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本リウマチ学会専門医 臨床研修指導医養成講習会	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
整形外科	大澤 誠也	倉敷成人病センター	部長	30 年	○	日本専門医機構認定整形外科専門医 第2回全国済生会臨床研修指導伊のためのワークショップ修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
整形外科	岸本 裕樹	倉敷成人病センター	部長	27 年	×	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医	030796501 030796502	

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること。

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
乳腺科	吉川 和明	倉敷成人病センター	主任部長 プレストセンター センター長	37 年	○	日本乳癌学会乳腺専門医・指導医 日本医学放射線学会画像診断専門医 日本超音波医学会超音波専門医・指導医 日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ読影A s判定 日本乳がん検診精度管理機構乳房超音波試験A判定 臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
乳腺外科	村嶋 信尚	倉敷成人病センター	主任部長 プレストセンター 副センター長	38 年	×	日本外科学会認定医・専門医 日本消化器外科学会認定医 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会読影認定医 日本乳癌学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	030796501 030796502	

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
放射線治療科	矢原 勝哉	倉敷成人病センター	主任部長	25 年	○	日本医学放射線学会研修指導者 日本放射線腫瘍学会・日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本ハイパーサーミア学会指導医 緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了 産業医学基本講座修了 卒後臨床研修指導医養成講習会修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
放射線治療科	久保田 元	倉敷成人病センター	部長	41 年	×	第1種放射線取扱主任者 日本放射線腫瘍学会・日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了 日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影医 日本乳がん検診精度管理中央機構乳がん検診超音波検査判定医師	030796501 030796502	

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること。

33. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 030796

臨床研修病院の名称： 倉敷成人病センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	研修プログラムの名称・プログラム番号	備考
病理 (病理診断科)	大森 昌子	倉敷成人病センター	主任部長	31 年	○	日本病理学会専門医・研修指導医 日本臨床細胞学会専門医・教育研修指導医 死体解剖資格 VHJ機構指導医養成講座修了	030796501 030796502	4.臨床研修指導医
病理 (病理診断科)	中本 周	倉敷成人病センター	学術顧問	46 年	○	日本病理学会専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 死体解剖資格	030796501 030796502	4.臨床研修指導医

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること。